

## (11月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率 (%)	
だいこん		12,276	95	12,468	52	135	54	75	0.6	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は猛暑の影響で作業が遅れたため、入荷は遅れており11月からスタートする。上旬は生育遅れの影響で価格は高めだが、下旬には入荷増が見込まれ、価格は下がる見通し。
にんじん		7,887	93	7,695	109	128	106	-	-	千葉、北海道産中心の入荷で全体の約8割を占める。北海道産の切り上がりがあったこと、主力の千葉産がやや遅れ気味であることから上旬の入荷は少ない見込み。そのため、価格は高いと予想。ただし、後半は入荷が急増し価格は落ち着く見通し。
はくさい		12,732	100	12,907	39	128	39	-	-	茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。本年は生育が遅れているため、高原産地の動向によっては上旬に一時高くなる可能性がある。全体の入荷は前年並、価格は前年を上回る見込み。
ほうれんそう		1,771	98	1,971	373	101	349	-	-	群馬を中心とする関東産が市況をリードする。本年は猛暑の影響があったが、10月まではその影響が残り価格は平年を上回った。11月の出荷は落ち着いてくる予想。全体的には、入荷は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
キャベツ類		13,888	95	12,987	44	170	61	-	-	千葉、茨城、愛知産中心の入荷で全体の約8割を占める。11月は前半に数量が少なく、後半になって潤沢になる見込み。価格も数量の増加に応じて下げ足早まる見通し。
ねぎ		5,782	95	5,927	246	110	231	225	3.9	青森を中心とする東北産と埼玉などのねぎ産地が市況をリードする。11月は東北産が少なくなる中旬ごろに価格が上昇し、潤沢ベースになると見込まれる下旬には価格は落ち着く予想。
レタス類		6,986	100	7,149	113	89	126	-	-	茨城産中心の入荷で約6割を占める。本年は大量に出回るという下馬評があるが、産地側の情報ではそれほど多くない見方。全体的に入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
きゅうり		4,726	97	4,826	343	108	332	19	0.4	埼玉を中心とする関東産の抑制ものが市況をリードする。本年は猛暑の影響がまだ残っており、平年をやや下回る見通し。価格は前年を上回る見込み。

(11月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率 (%)	
なす		1,844	100	2,092	366	95	323	-	-	高知産中心の入荷で全体の約6割を占める。高知産は平年並にもどり、11月中旬にやや多くなって山ができる見通し。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
トマト		6,321	90	5,109	232	129	370	28	0.4	千葉、茨城を中心とする関東産及び愛知、熊本の暖地ものが市況をリードする。本年は東北の夏秋は少なく、抑制物には猛暑の影響が若干残っている。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年を上回る見込み。
ピーマン		1,760	100	1,902	332	96	294	-	-	茨城、宮崎産中心で全体の約8割を占める。本年は茨城の作柄は不良。宮崎、鹿児島のは増加。全体の入荷量は前年並、価格も前年を下回る見込み。
ばれいしょ		7,281	93	7,239	127	115	102	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産ばれいしょの作柄不良は深刻。価格は平年を大きく上回っているが販売は低迷している。11月も入荷量は少なく価格は現状維持となるが引き合いは弱く、苦しい販売状況が続く。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年を上回る見込み。